



おどろく
驚

富岡 勝則

皆さんこんにちは。

今年の体育祭は、雲ひとつないすばらしい天候に恵まれました。当日は、たくさんの皆さんに参加していただき、和気あいあいとした雰囲気の中、さまざまな種目で熱戦が繰り広げられ、大成功のうちに終了することができました。たいへんありがとうございました。

さて、先月、市内の少年野球チームの応援で、西武ドーム球場に行ってきました。対戦相手は千葉県のチームで、結果は残念ながら負けてしまいましたが、好プレーもたくさんあり、はらはらどきどきする好ゲームでした。そして、各選手のレベルの高さに驚かされ、将来がたいへん楽しみという思いで見えていました。

特に、相手チームのピッチャー（エース）で4番が女子選手であることにも驚きましたが、それ以上に、その球の速さにビックリしました。多分、多く

の皆さんは、女子が投げると山なりのボールをイメージする人が多いと思いますが、とんでもありません。「ピシッ」とキャッチャーのミットへ吸い込まれていました。これだけの速いボールを投げられるには、練習もさることながら、その子自身が持っている素質なのかもしれません。

一方、朝霞のチームでもショートを守っている女子選手がたいへん上手で、最後にリリーフピッチャーとして登板し、相手の女子選手に負けなくらいの速球を投げていたそうです。私自身、公務の関係でやむなく試合途中で帰りましたが、投げている姿を見られなかったのは残念でした。大会結果は、朝霞市に勝った千葉県のチームが優勝しました。

女子選手といえば、日本の女子野球でも高校生の吉田えりさんが、男性といっしょにプレーする日本初の女子プロ野球選手として話題になったことも記憶に新しいところですね。これからますます女子選手が現れることを期待したいと思います。

数年前まで、野球人気が低迷した時期がありましたが、WBC（ワールドベースボールクラシック）の盛り上がりやイチロー選手の活躍もあって、多少は人気が復活してきたような気がします。

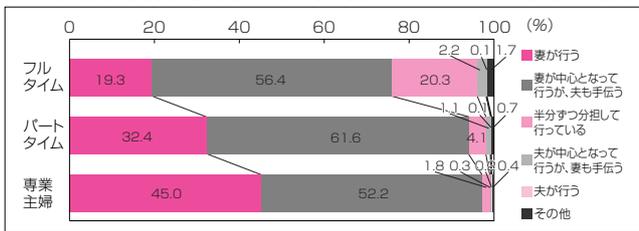
私も野球が好きですが、この野球というスポーツを男女関係なく楽しむこと、たいへん素敵なことだと思います。

ではまた。

朝霞市は男女平等を進めています
—統計データから読む男女共同参画⑧—

「男女のライフスタイルに関する意識調査」（内閣府・平成21年）では、家事の分担について、夫婦ともにフルタイムで働いている家庭でも、家事を「妻が行う」、「妻が中心になって行うが、夫も手伝う」が約75%を占めており、「半分ずつ分担して行っている」とする夫婦は約2割と、まだまだ家事分担が妻に偏っている現状が伺えます。

■妻の雇用形態別家事分担の状況(男性はフルタイム労働の場合)



※このコラムは、「朝霞市男女平等推進事業企画・運営協力員」との協働により掲載しています。

問い合わせ／人権庶務課 内線2255
☎048-463-2697（直通）

「朝霞市みどりの基金」にご協力をお願いします

「朝霞市みどりの基金」は、市内の緑地の保全および緑化の推進に必要な土地の取得等に要する財源に充てるため、平成14年4月に設立され



岡緑地

た基金です。この基金を活用して、平成15年度には岡緑地(0.4㌔)、平成16年度には宮戸緑地(0.5㌔)の用地を取得し、緑地の保全を行いました。

近年、二酸化炭素などの排出による地球温暖化や都市化によるヒートアイランド現象などが社会問題化しており、その緩和策として緑が重要であることなどから、緑地の保全や緑化の推進が求められています。将来の子どもたちに少しでも多くの緑を残すことができるように、市民の皆さんの基金へのご協力をお願いします。

なお、基金への寄付は、寄付金として税金の控除を受けることができます。

問い合わせ／都市計画課 内線2102～3
☎048-463-0374（直通）

ひとの推移

人口	12万9,283人 (+44人)	世帯数	5万8,451世帯
男	6万6,161人 (+22人)		(+46世帯)
女	6万3,122人 (+22人)	平成21年10月1日現在 () 内は前月比	